

優秀賞

二ばん目のおかあさん

佐賀県 鳥栖市立弥生が丘小学校二年 畑邊 陽香里

わたしには、いもうとが二人います。一ばん下のいもうとは、ほいくえんに行っています。さいきん二さいになりました。わたしのおかあさんはおしごとをしていて、いつもいそがしそうです。いもうとはおかあさんが大すきで、おかあさんにいつもしがみついているので、おかあさんはいえではたいへんそうです。なので、わたしがいもうととあそんであげます。そのあいだに、おかあさんはおうちのことをします。いもうとは、とてもかわいいです。でもいもうとが生まれたばかりの時、わたしはいもうとのことをがきらいでした。おとうさんもおかあさんも、あかちゃんがいもうとばかりかわいがっていたからです。いもうとが生まれた時、ようち園に行っていたわたしは小学生になり、いもうとも大きくなりました。きらいだったいもうとも、いつのまにか大きくなっていました。

いもうとがお気に入り絵本は「だるまさん」の絵本です。いもうとは、この絵本をわたしのところにもってきます。わたしが読んであげると、体をうごかしてうれしそうにします。そして、いもうとがない時は手あそびをいっしょにします。わたしがいもうとのうでをゆびでトコトコして、

「かいだんのぼってー。」

と言うと、いもうとはくすぐったいかキヤキヤとわらいます。わたしは、なっていたいもうとがわらってくれてうれしくなります。

この前、いもうとがいえの中でかみの毛をひろって、わたしにわたしてきました。いもうとは、わたしにすててといういみでわたしてきたのだと思います。わたしは、いもうとのもっているかみの毛をそのまま、いもうとの手をひいてごみばこまでつけていきました。わたしはいもうとに

「ごみはここにすてるよ。」
と教えて、ポイさせました。それからいもうとはごみを見つけると、じぶんですててくれるようになり
ました。わたしはじぶんが、二人目のおかあさんにな
ったような気がしました。そしてこの前、いもう
とがはじめてわたしのことを「ねえね」と言ってく
れました。上のいもうとが「おねえちゃん」と言っ
てくれたときもうれしかったです、あかちゃんだ
ったいもうとがわたしを「ねえね」とよんでくれた
ことがすごくうれしかったです。これからも、わた
しは二人のいもうとをまもっていきたいと思いま
した。

